

第 10 章 消 防 費

第10章 消 防 費

消 防 費

1 常備消防費

(1) 一般諸経費

備品購入

名 称	規 格	数 量	金 額 (円)	受 注 者	契約方法
消 防 吏 員 用 上 下 型 防 火 衣	(株)倉本産業製 スプラウドフローネイビー	15 着	3,465,000	野 口 酸 素 (株)	指名競争 入札
自 動 体 外 式 除 細 動 器	日本光電工業(株)製 AED-3150	3 台	1,485,000	協和医科器械 (株)沼津支店	指名競争 入札
消 防 用 ホ ー ス (40mm)	帝国繊維(株)製 キンパイホース NEW プロファイター A 1.6MPa ロック町野リング締 め ルミライトホース	13 本	1,972,850	オブリック(株)	指名競争 入札
消 防 用 ホ ー ス (50mm)		22 本			
消 防 用 ホ ー ス (65mm)		7 本			

(2) 消防職員研修事業

令和4年度に導入した無人航空機（ドローン）の操作研修を受講し、大規模災害時における情報収集をはじめ、山岳救助事案等において効果的な要救助者の検索ができるよう、委託業務を次のとおり実施しました。

委 託

名 称	概 要	金 額 (円)	委 託 先	契約方法
ド ロ ー ン 操 作 研 修 業 務 委 託	無 人 航 空 機 (ド ロ ー ン) に 関 す る 基 礎 知 識 や 操 縦 技 能 の 研 修	269,500	企 業 組 合 フジヤマドローン	随 意 契 約 (一 者 随 契)

成果等

職員1人が無人航空機（ドローン）に関する基礎知識及び操縦技能を習得するとともに、一般社団法人日本UAS産業振興協議会の定める無人航空機操縦に関するライセンスを取得しました。これにより、災害時等に無人航空機（ドローン）を活用する体制を強化しました。なお、消防職員のライセンス取得者数は、8人となりました。

2 非常備消防費

消防団活動事業

(1) 備品購入

名 称	規 格	数 量	金 額 (円)	購 入 先	契約方法
消 防 団 救 助 資 機 材 (チ ェ ン ソ ー)	(株)マキタ製 MUC019GZ3	20	1,958,000	(株)東海消防機材商会	指名競争入札
消 防 団 用 ホ ー ス (65mm)	帝国繊維(株)製 キンパイ New マイティホー ス aya	26	1,755,600	オ ブ リ ッ ク (株)	指名競争入札
消 防 団 用 ホ ー ス (50mm)		23			
消 防 団 用 ホ ー ス (40mm)		6			

(2) 消防団員健康診断

自営業者等の消防団員（162人）のうち、健康診断を受ける機会の少ない者を対象に法定健診、HBs 抗原・抗体検査、HCV 抗体検査及び成人病健診として便潜血反応検査（大腸ガン）と胃部レントゲン検査を実施しました。

検査項目	区分	受検人数 (人)	受検率 (%)	金 額 (円)	委 託 先	契約方法
視力・聴力・血圧・尿検査・胸部 X線間接撮影・心電図・生化学 検査（肝機能・脂質）・血液一般		108	66	528,660	医 療 法 人 社 団 清 風 会 芹 沢 病 院	随 意 契 約
便 潜 血 反 応 検 査		104	64	57,200		
胃 部 X 線 間 接 撮 影		71	43	273,350		
H B s 抗 原 検 査		108	66	47,520		
H B s 抗 体 検 査		108	66	47,520		
H C V 抗 体 検 査		108	66	89,100		

成果等

健康診断を受ける機会の少ない自営業者等の消防団員を対象に毎年1回健康診断を実施し、健診の結果、異常が認められた団員に対して医師の診療を受けるよう指導することにより、消防団員の健康管理の向上を図りました。

3 消防施設費

(1) 富士市・富士宮市消防指令センター管理運営事業

負担金

名 称	概 要	金額（円）
富士市・富士宮市消防通信 指令施設管理運営費負担金	消防通信指令事務協議会の運営経費に係る負担金	56,370,277

(2) 中央消防署芝川分署建替事業

中央消防署芝川分署を浸水想定区域外かつ土砂災害の影響の少ない西山地区に移転します。自家給油設備等を設け継続的な消防活動が行えるよう備えることで防災拠点施設としての機能を有し、消防団詰所と隣接することで消防機能を一体化した、災害に迅速かつ継続的に対応する体制を整備します。令和6年度は移転に伴う委託業務を次のとおり実施しました。

ア 委 託

名 称	概 要	金額（円）	委 託 先	契約方法
中央消防署芝川分署建替事業に伴う不動産鑑定評価業務委託	建替予定地の不動産鑑定評価	404,800	(株)リアルエステート コンサルティング	随意契約
中央消防署芝川分署建替事業に伴う測量業務委託	建替予定地の面積、境界線及び高低差等の測量	4,785,000	(有) 拓 昇 測 量	指名競争入札
中央消防署芝川分署建替事業に伴う地質調査業務委託	建替予定地のボーリングによる試料採取、土質解析等の地質調査	3,498,000	(株) 建 設 コ ン サ ル タ ン ト セ ン タ ー 富 士 営 業 所	指名競争入札

イ 公有財産購入

内 容	件 数	面 積 (m ²)	金 額 (円)
中央消防署芝川分署建替事業に伴う土地購入	1	2,937.77	7,344,425

(3) 消防ポンプ自動車等購入事業（繰越明許分）

富士宮市西消防署北分署に配備する支援車について、令和5年度分を次のとおり繰り越して実施しました。

備品購入

名 称	規 格	数 量	金 額 (円)	受 注 者	契約方法
支 援 車 III 型	い す ゞ	1 台	56,261,450	坪井特殊車体(株)	指名競争入札

(4) 消防団詰所整備事業

ア 委 託

名 称	概 要	金 額 (円)	委 託 先	契約方法
第 21 分団（猪之頭）統合詰所整備工事に伴う設計業務	詰 所 整 備 工 事 に 伴 う 基 本 ・ 実 施 設 計 業 務	8,784,400	(株)アルファ設計	指名競争入札

イ 工 事

名 称	工 事 ・ 概 要	金 額 (円)	受 注 者	契約方法
第 17 分団（辻坂）詰所解体工事	消 防 団 詰 所 解 体 工 事	2,541,000	(株)ワトー	公募型指名競争入札

ウ 工 事（次年度繰越事業）

名 称	工 事 ・ 概 要	金 額 (円)	受 注 者	契約方法
第 27 分団 詰所駐車場整備工事	消 防 団 詰 所 駐 車 場 の 整 備 及 び 耐 震 性 防 火 水 槽 の 設 置	10,530,000	(株)旭建設	公募型指名競争入札

(5) 消防施設維持補修事業

工 事

名 称	工 事 ・ 概 要	金 額 (円)	受 注 者	契約方法
中央消防署東分署庁舎長寿命化工事（長寿命化対象事業）	屋根、屋上防水、外壁等の改修	51,986,000	(株)旭建設	公募型指名競争入札

(6) その他建設事業負担金

消火栓の新設及び修繕

名 称	工 事 ・ 概 要	金 額 (円)
新 設	地下式消火栓 3 基	4,760,888
修 繕	消火栓修繕等 4 基	2,902,778

成果等

消防水利不足で防火水槽を設置することが難しい場所に消火栓を計画的に設置することにより、消防水利の充足と火災等の災害時に迅速に対応できるようになりました。

4 防災費

(1) 防災用資機材管理事業

地震等災害時に防災行政無線が正常に機能し、正確な情報の収集・伝達が行えるよう、保守点検を次のとおり実施しました。

委 託

名 称	概 要	金額（円）	委 託 先	契約方法
地域防災無線保守点検業務	地域防災無線（基地局2局、中継局2局、移動局187局）保守	9,240,000	(株)門田電話工業所	指名競争入札

(2) 耐震性防火水槽設置事業

震災対策を主眼に消防水利不足地域に対し40㎡型耐震性防火水槽を設置するため、人穴地区耐震性防火水槽設置工事を実施し、工事費は、合計1,324万2,000円でした。

成果等

耐震性防火水槽を消防水利不足地域に計画的に設置することにより、消防水利の充足と火災等の災害時に迅速に対応できるようになりました。

(3) 防災用施設・資機材等整備事業

備品購入

名 称	規 格	数量	金額（円）	購 入 先	契 約 方 法
可 動 式 小 型 動 力 ポ ン プ	VF21B(C-1級)	5	8,620,700	旭産業(株)沼津営業所	指名競争入札
防 災 倉 庫 (避 難 所 用)	鍛造ステンレス石目模様 防災倉庫A-1-4型	3	11,748,000	(株)平和防災産業	指名競争入札
防 災 倉 庫 (自主防災会用)	LMD-2922	5	2,480,500	スミヤ(株)	指名競争入札
テ ン ト ト イ レ	TO-LS	3	5,491,200	(株)平和防災産業	指名競争入札

成果等

災害時のトイレ不足を解消するため、車イス用のスペースを含めて7室を同時使用できるテント式トイレを男女3張ずつ購入し、3避難所に配備しました。

(4) 同報無線施設運用管理事業

同報無線の基地局及び屋外受信所（子局256か所）が正確に作動するよう点検・整備等を実施しました。

委 託

名 称	概 要	金額（円）	委 託 先	契約方法
デジタル同報無線 設備保守点検業務	デ ジ タ ル の 基 地 局 ・ 屋 外 受 信 所 の 保 守 点 検	11,748,000	静岡無線サービス(株)	指名競争入札

(5) 国・県支出金を伴う運営費補助金

自主防災会運営費補助金

自主防災会の活性化を推進するため、125自主防災会に運営費補助金を交付しました。

交付額 1,422万800円

内 訳 5万円×125自主防災会=625万円

200円×3万9,854世帯=797万800円

(6) 各種補助金

感震ブレーカー設置費補助金

地震の揺れに伴う電気機器からの出火及び停電復旧時に起こる火災の発生を防止するため、感震ブレーカーを設置する 241 人に対し、補助しました。

交付額 599 万 7,000 円

(7) 防災訓練の実施

9 月 1 日の「総合防災訓練」は、台風 10 号の接近に伴い中止としましたが、代替えとして、各班ごとに実践型又は対話型の訓練を 9 月中に実施しました。また、自主防災会主体の訓練についても、別日に実施されました。

また、12 月 1 日の「地域防災訓練」では、自主防災会が主体となり、地域の実情に応じた様々な訓練を実施しました。

これらの訓練は、いずれも突発的な大規模地震の発生を想定したものです。日頃の防災対策の確認と防災意識の高揚を図ることができました。

区 分	自主防災会数	参 加 人 数 (人)				
		自主防災会	災害対策本部	防災関係機関	その他	合 計
総合防災訓練	50	7,694	0	138	834	8,666
地域防災訓練	125	24,557	53	618	2,915	28,143

(8) 防災の啓発活動

富士宮市防災強化月間（6 月 1 日～6 月 30 日）

6 月を防災強化月間として、次のとおり防災啓発事業を実施しました。

ア 防災展

市役所 1 階市民ホールにて市民を対象とした防災展を開催し、防災用品の展示や静岡県災害派遣福祉チーム（静岡 DWAT）による防災用資機材の説明及び操作体験を実施しました。

イ 災害時地域リーダー研修会

自主防災会長を対象に、避難所運営に関することや防災アプリの活用方法について外部講師を招き研修を行いました。

また、市担当職員が、個別避難計画・避難行動要支援者名簿について説明を行いました。

ウ 中学校での防災訓練

エ 全職員参集訓練

全職員を対象に、参集ルートの危険箇所や参集報告方法の確認を行うとともに、職場からおおむね半径 6 km 未満に居住している職員は、自動車及び公共交通機関以外の交通手段で参集する訓練を実施しました。

オ 資機材取扱訓練

地区担当班職員を対象とした避難所設営における各種資機材取扱訓練を実施しました。

カ 高校生による普通救命講習

市内 5 高等学校から各校 5 名程度を対象に、普通救命講習会を実施しました。